



学校通信

吉里吉里学園  
中学部

# 越郷の丘

令和 3年 3月 5日

第16号 文責：浅沼

大変ご無沙汰してしまいました。申し訳ございません。気づいたらもう3月。年度の締めくくりにきていました。

## PTAワカメ体験学習 やっとできました

中学部の学校教育目標の中に、『豊かな人間性～感謝と思いやりの心を持つ人～』と『未来に生きる郷土愛～地域社会に貢献できる人～』というものがあります。私たちの学校生活は、多くの方々との結びつきの中で育まれてきているものであり、地域の方々の支えは絶対になくてはならないものです。そのことに体験を通じて気づき、同時に、素直に感謝の気持ちを伝えたり、思いやりを持った行動ができたりするように育ててほしいと願い、多くの活動が組まれています。なかでも、地域産業への興味・関心を高め、郷土を愛し、郷土のために貢献できる人材につなげるために、脈々と受け継がれてきた「ワカメ体験学習」の持つ意味は大きいと改めて考えさせられました。

冷たい風が吹くものの、真っ青な青空のもと行われた「ワカメ体験学習」。2月27日（土）の早朝から多くの保護者の皆さまのご協力をいただきながら実施できました。また、吉里吉里ワカメ養殖組合の倉本修一さんをはじめ、多くの関係者の皆さまからご指導・ご協力をいただき、昨年は経験することができなかった8年生と初めて経験する7年生の面々も元気に参加することができました。初めに倉本さんから、「これは遊びではない。仕事なのだからしっかりやってほしい。」という温かくも厳しい言葉をいただき、安全に留意しながら、役割分担に沿って気を引き締めながら学習に臨みました。

収穫船に乗って実際にワカメを収穫する者、見学船で見守りながらワカメの生育状況を見て学ぶ者、漁港で塩蔵などの作業準備を進める者など、笑顔があふれる中にもそれぞれに懸命な作業をしてくれていたように思います。

このあとも芯さき、しぼり、ほぐし、袋詰め等、まだまだ作業は続きますが、PTAや漁協女性部の皆さまのご協力をいただきながら、完成に繋げていきたいと思っております。関係各位に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



# 進級生一日体験入学

2月5日（金）吉里吉里学園小学部の6年生11名が本校への一日体験入学に臨んでくれました。とても元気で、礼儀正しい皆さんでした。多少の緊張はあったと思いますが、授業体験や部活動体験では随所に笑顔が見られ、積極性も素晴らしかったです。午後には保護者の皆さまも交えて進級説明会を行いました。話を聞くとときの真っ直ぐな目を見て、「これなら心配いらない」と確信しました。春休み中も含めて部活動体験は続きます。いくらかでも不安を取り除き、スムーズに中学部に進級できるように準備を進めたいと思います。



よろしくお願いします！

じゃあ、ちょっとやってみて。アレ???  
う、うまいじゃないか。

アドバイスどおりにやってみたら  
打てちゃうんだよなあ



## 9年生の自覚と決心

9年生にとって、乗り越えなければならない大きな壁の一つに「高校入試」があります。その決戦の日まであとわずかとなりました。3月9日（火）、3年間積み上げてきた努力の成果を発揮する日です。今年はコロナ対策のため、面接試験が行われず、学力検査のみの選抜となることが通知されています。時間を惜しんで、一つでも多くの問題に取り組み、得意を伸ばし、苦手を減らすことに精力を傾けてきました。ぜひ9年生の皆さんには自分の持てる力を存分に発揮してほしいと願っています。

以前に、9年生の学級通信に「**苦しい今に価値がある**」という言葉が載っていました。自分らしく、いつも通りに。みんなの願いが届きますように。がんばれ、9年生!!

